

(社) 室蘭建設業協会との意見交換の概要

1 日 時 平成13年4月26日(木) 13:00~15:00

2 場 所 室蘭建設業協会応接室

3 出席者 室蘭建設業協会関係者 5名
北海道総務部入札指導監察監室 2名
胆振支庁総務部会計課事業管理室 2名

4 意見の内容(要旨)

① ランダムカットについて

- ・ 一期工事の受注業者が、二期工事の際にランダムカットで落とされる事があり機械的な選定だけでなく、細部まで検討して欲しい。
- ・ 履行可能な業者として候補になった者をさらにカットするのはおかしい。
- ・ 発注件数が少ない中で、多数の業者がカットされるので、カット率を下げて欲しい。

② 適切な指名選考について

- ・ 災害等の緊急時は、地元業者が対応しているが、その後の工事は、大手業者を対象に発注していることが多い。地域に対する貢献度も指名選考の基準として加味して欲しい。
- ・ 大手業者は、機材など低価格で仕入れられるため、低落札で受注することができるが、地元業者は地域住民を配慮しながら、割の合わない傾斜地等の工事を行っており、このような工事の地域への貢献度も指名選考の基準として、加えて欲しい。
- ・ 格付の等級区分が4段階に改正され、従前のE等級業者がD等級になったことから、施工能力について留意の上選考して欲しい。

③ 不良不適格業者の排除

- ・ 地元の法務局に届出していない業者がいたり、地元には営業所があっても技術者が本社勤務で留守にしている業者もいるので留意してほしい。
- ・ 経審による格付であるため、例えば建築実績の多い業者が土木工事を受注する事ができて丸投げすることが予想される。
- ・ ダンピングで受注したと思われる入札があり、下請業者に影響がおきている。

④ 施行成績について

- ・ 完成品の評価点数は、社内でボーナスの算定に使用する業者もあるので、その評価内容がわかれば努力目標となり良いと思う。
- ・ 施行成績が悪い業者は、指名しないなどの方法があって良いと考えている。

⑤ 予定価格の事前公表について

- ・ 積算ソフトがあり、概ね予定価格は積算できるが、見積りした結果、予定価格よりも高かった場合でも、予定価格が公表されていると無理して下回る価格で入札に参加したことがある。

⑥ 多様な入札方式について

- ・ 受注意欲があっても会社での類似工事の実績がないために応募できないことがある。優秀な技術者の雇用の面からも、応募要件の類似工事实績は、会社での実績ではなく、技術者の経験も考慮して欲しい。
- ・ 公募型は、技術者が応募の段階から拘束されることが条件として厳しすぎないか。

⑦ その他

- ・ 発注標準で定めている金額の範囲が広すぎると思う。もっと細かい範囲にした方が良く考えている。
- ・ 最低制限価格の率を一律とせず、工事ごとに範囲を決めても良いのではないか。9割近い最低制限価格であっても良いのではないか。